

久医発事第 0717001号  
令和 2 年 7 月 1 7 日

都道府県知事  
各 殿  
指定都市市長

依存症対策全国センター センター長  
独立行政法人国立病院機構  
久里浜医療センター  
院長 樋口 進  
(押 印 省 略)

令和 2 年度 依存症治療指導者養成研修、依存症相談対応指導者養成研修  
及び地域生活支援指導者養成研修の開催について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

依存症対策につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当センターでは、平成 2 9 年度から開始された「依存症対策全国拠点機関設置運営事業」の一環として、都道府県等における依存症の支援に必要な人材育成を推進することを目的として、都道府県等において指導的な役割を果たす者を養成するため、標記研修を別添により開催することとなりました。

つきましては、貴管内関係機関に周知をお願いするとともに、貴管内の受講希望者の選考方よろしくお願い致します。

敬 具



令和２年度 「依存症治療指導者養成研修」、「依存症相談対応指導者養成研修」及び「地域生活支援指導者養成研修」開催のご案内

「依存症治療指導者養成研修」、「依存症相談対応指導者養成研修」及び「地域生活支援指導者養成研修」については、平成２９年度から開始された「依存症対策全国拠点機関設置運営事業」の一環として開催され、都道府県等における依存症の支援に必要な人材養成を推進し、都道府県等において指導的な役割を果たす者を養成することを目的としており、アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症、ゲーム依存症（以下「依存症」という）を対象とした、依存症患者や家族に対する治療・相談等に係る研修です。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインで研修を実施します。オンライン研修の受講場所については、職場又は自宅等を想定していますが、通信環境のより良い場所での参加を推奨します。なお、今後、依存症患者等の当事者へのオンラインによる支援が求められることも想定されるため、必要な通信環境の整備をご検討していただけますよう、ご理解の程よろしく願いいたします。

なお、プログラム等の詳細については、決まり次第依存症対策全国センターホームページ（<https://www.ncasa-japan.jp/>）等に掲載を予定しております。

１ 依存症治療指導者養成研修

都道府県等の依存症専門医療機関等において依存症の治療に当たる医療従事者を対象とした、専門性を向上させるための研修です。

２ 依存症相談対応指導者養成研修

都道府県等の精神保健福祉センター等において依存症の相談支援に当たる職員を対象とした、依存症患者や家族等からの相談への対応力を強化するための研修です。

なお、依存症治療指導者養成研修、依存症相談対応指導者養成研修は共通プログラムとなっておりますが、申し込みの際にはどちらの研修に参加されるか明記して下さい。

また都道府県等におかれましては、研修ごとに参加希望者を取りまとめ、優先順位を付したうえで、薬物依存症研修は国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 松本裕美宛へ申込票をメールもしくはFAXにて申込下さい。

その他の研修は後日依存症対策全国センターより送付するメールのリンク先より、申込登録をお願いします。

応募者多数の場合には、依存症対策全国センターで厚生労働省と協議の上、選考を行います。

（１）アルコール依存症研修（治療指導者養成研修／相談対応指導者養成研修）

① 研修日時：令和２年９月１０日（木）～９月１１日（金）

- ② 実施方法：ZOOMによるオンライン研修
- ③ プログラム：別紙ご参照ください  
※後日、依存症対策全国センターホームページ (<https://www.ncasa-japan.jp/>)、  
久里浜医療センターホームページ (<https://kurihama.hosp.go.jp/>) にも掲載  
予定
- ④ 定員：100名
- ⑤ 研修企画担当：久里浜医療センター 教育情報部長 真栄里 仁
- ⑥ プログラム内容問い合わせ先：  
依存症対策全国センター事務局長 遠山 朋海  
E-Mail: [tomo3toyama@ncasa-japan.org](mailto:tomo3toyama@ncasa-japan.org)
- ⑦ 申し込み期限：令和2年7月31日（金）
- ⑧ プログラム内容以外の問合せ先：  
久里浜医療センター 依存症対策全国センター事務局 西澤・間島・猪羽  
〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-3-1  
TEL: 046-848-1550 FAX: 046-813-0638  
E-Mail: [contact@ncasa-japan.org](mailto:contact@ncasa-japan.org)

(2) 薬物依存症研修（治療指導者養成研修／相談対応指導者養成研修）

- ① 研修日時：令和2年10月23日（金）および30日（金）※両日参加必須
- ② 実施方法：ZOOMによるオンライン研修
- ③ プログラム：別紙ご参照下さい  
※後日、依存症対策全国センターホームページ (<https://www.ncasa-japan.jp/>)、  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研  
究部ホームページ (<https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/>) に掲載予定
- ④ 定員：地域生活支援指導者養成研修と併せて70名
- ⑤ 受講に必要な準備
  - ・ インターネット環境（必須）
  - ・ Zoom をインストールした、もしくはインストール可能なパソコン（必須）
  - ・ ヘッドセット または マイク付きイヤホン（ヘッドセット推奨・PC内蔵マイクも可）
  - ・ Webカメラ または PC内蔵カメラ（使用推奨）
  - ・ Wifiではなく有線の回線をご利用下さい（使用推奨）
- ⑥ 研修企画担当：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ
- ⑦ 研修プログラム問い合わせ先：国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ  
E-Mail: [a-kondo@ncnp.go.jp](mailto:a-kondo@ncnp.go.jp)
- ⑧ 申し込み期限：令和2年7月17日（金）～9月11日（金）
- ⑨ プログラム内容以外の問合せ先、都道府県等申込先：

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 松本裕美  
〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
TEL:042-341-2712(内線:6225) FAX:042-346-1954  
E-Mail: hmatsumoto@ncnp.go.jp

(3) ギャンブル等依存症研修(治療指導者養成研修/相談対応指導者養成研修)

- ① 研修日時: 第1回 令和2年 9月17日(木) ~ 9月18日(金)  
第2回 令和2年12月 3日(木) ~ 12月 4日(金)
- ② 実施方法: ZOOMによるオンライン研修
- ③ プログラム: 別紙ご参照ください  
※後日、依存症対策全国センターホームページ  
(<https://www.ncasa-japan.jp/>)、久里浜医療センターホームページ  
(<https://kurihama.hosp.go.jp/>)にも掲載予定
- ④ 定員: 各回100名
- ⑤ 研修企画担当: 久里浜医療センター 副院長 松下 幸生
- ⑥ 研修プログラム問い合わせ先:  
依存症対策全国センター事務局長 遠山 朋海  
E-Mail: tomo3toyama@ncasa-japan.org
- ⑦ 申し込み期限:  
第1回 令和2年7月31日(金)  
第2回 令和2年10月1日(木) ~ 10月31日(土)
- ⑧ プログラム内容以外の問合せ先:  
久里浜医療センター 依存症対策全国センター事務局 西澤・間島・猪羽  
〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 5-3-1  
TEL: 046-848-1550 FAX: 046-813-0638  
E-Mail: contact@ncasa-japan.org

(4) ゲーム・インターネット依存症研修(治療指導者養成研修/相談対応指導者養成研修)

- ① 研修日時: 治療指導者養成研修 令和2年11月5日(木) ~ 11月6日(金)  
相談対応指導者養成研修 令和3年2月25日(木) ~ 2月26日(金)
- ② 実施方法: ZOOMによるオンライン研修
- ③ プログラム: 後日、依存症対策全国センターホームページ  
(<https://www.ncasa-japan.jp/>)、久里浜医療センターホームページ  
(<https://kurihama.hosp.go.jp/>)に掲載予定
- ④ 定員: 各回70名
- ⑤ 研修企画担当: 久里浜医療センター 院長 樋口 進
- ⑥ 研修プログラム問い合わせ先:  
久里浜医療センター教育情報部 間島

E-Mail : kanri4@ncasa-japan.org

⑦ 申し込み期限 :

治療指導者養成研修 令和2年 8月31日(月) ~ 9月28日(月)

相談対応指導者養成研修 令和2年11月30日(月) ~ 12月28日(月)

⑧ 申し込み先(参加希望者): 下記項目を記載の上、kanri4@ncasa-japan.org へ参加希望者から直接メールにて、お申し込みください。

1) 氏名(フリガナ)

2) 勤務先名称

3) 郵便番号・勤務先住所

4) 電話番号

5) 職種(医師(精神科)、医師(精神科以外)、看護師、心理療法士(心理職全般)、精神保健福祉士(社会福祉士も含む)、保健師、作業療法士、回復施設職員、事務、その他)を選択

6) メールアドレス(オンライン研修の詳細を送信する為)

⑨ 受講決定通知 :

参加決定者のみ、下記日時までに直接決定通知書を郵送します

治療指導者養成研修 令和2年10月11日(日)

相談対応指導者養成研修 令和3年 1月11日(月)

⑩ プログラム内容以外の問合せ先 :

久里浜医療センター 依存症対策全国センター事務局 西澤・間島・猪羽  
〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-3-1

TEL : 046-848-1550 FAX : 046-813-0638

E-Mail : contact@ncasa-japan.org

### 3 地域生活支援指導者養成研修

都道府県等・市区町村において依存症患者等の地域における生活の支援を行う者(障害福祉サービス事業者、相談支援事業者等)を対象とした、依存症の特性を踏まえた支援についての研修です。

本研修も各依存症別に開催しますが、薬物依存症地域生活支援指導者養成研修は、依存症治療指導者養成研修、依存症相談対応指導者養成研修の初日に、共通プログラムで開催します。

アルコール依存症地域生活支援指導者養成研修及びギャンブル等依存症地域生活支援指導者養成研修については、開催方法が決まり次第お知らせいたします。

都道府県等におかれましては、研修ごとに参加希望者を取りまとめ、優先順位を付したうえで、薬物依存症研修は国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部松本裕美宛へ申込票をメールもしくはFAXにて申込下さい。

その他の研修は後日依存症対策全国センターより送付するメールのリンク先より、申込登録をお願いします。

応募者多数の場合には、依存症対策全国センターで厚生労働省と協議の上、選考を行います。

(1) アルコール依存症研修(地域生活支援指導者養成研修)

調整中

(2) 薬物依存症研修(地域生活支援指導者養成研修)

- ① 研修日時：令和2年10月23日(金)
- ② 実施方法：ZOOMによるオンライン研修
- ③ プログラム：別紙ご参照ください  
※後日、依存症対策全国センターホームページ<https://www.ncasa-japan.jp/>  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部ホームページ  
(<https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/>)に掲載予定
- ④ 定員：治療指導者養成研修・相談対応指導者養成研修と併せて70名
- ⑤ 受講に必要な準備
  - ・ インターネット環境(必須)
  - ・ Zoomをインストールした、もしくはインストール可能なパソコン(必須)
  - ・ ヘッドセット または マイク付きイヤホン(ヘッドセット推奨・PC内蔵マイクも可)
  - ・ Webカメラ または PC内蔵カメラ(使用推奨)
  - ・ Wifiではなく有線の回線をご利用下さい(使用推奨)
- ⑥ 研修企画担当：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ
- ⑦ 研修プログラム問い合わせ先：国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ  
E-Mail：a-kondo@ncnp.go.jp
- ⑧ 申し込み期限：令和2年7月17日(金)～9月11日(金)
- ⑨ プログラム内容以外の問合せ先、都道府県等申込先：  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 松本裕美  
〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1  
TEL:042-341-2712(内線：6225) FAX:042-346-1954  
E-Mail：hmatsumoto@ncnp.go.jp

(3) ギャンブル依存症等研修(地域生活支援指導者養成研修)

調整中

4 修了証書

研修修了者には修了証書を授与します。

※所定時間を受講されていない方は、修了証書を交付できませんのでご留意下さ

い。

※通信環境等により、研修の一部又は全部が受講できない場合、修了証が発行できない場合があります。このようなリスクを踏まえた上でご参加することを予めご了承ください。

5 参加費  
無料

6 受講するために必要な準備

- インターネット環境（必須）
- Zoom をインストールした、もしくはインストール可能なパソコン（必須）
- ヘッドセット または マイク付きイヤホン（ヘッドセット推奨・PC 内蔵マイクも可）
- Web カメラ または PC 内蔵カメラ（使用推奨）
- Wifi ではなく有線の回線をご利用下さい（使用推奨）

**令和2年度アルコール依存症研修  
(治療指導者養成研修/相談対応指導者養成研修)**

日時：令和2年9月10日（木）～11日（金）

場所：オンライン

実施日	時間帯	内容	講師	講師所属
9月10日 (木)	12:30-13:00	受 付		
	13:00-13:05	開会式		
	13:05-13:50	わが国のアルコール政策	伊東 寛哲	厚生労働省社会・援護局障害 保健福祉部精神・障害保健課
	13:50-14:35	依存症総論	樋口 進	久里浜医療センター
	14:35-14:50	休 憩		
	14:50-15:35	支援者に求められるスキル	成瀬 暢也	埼玉県立精神医療センター
	15:35-16:05	薬物療法	真栄里 仁	久里浜医療センター
	16:05-16:20	休 憩		
	16:20-17:05	合併身体疾患	堀江 義則	湘南慶育病院
	17:05-17:35	症例：消化器疾患	堀江 義則	湘南慶育病院
	17:35-17:50	休 憩		
	17:50-18:20	合併精神疾患	白坂 知彦	手稲溪仁会病院
	18:20-18:50	症例：うつ病	蒲生 裕司	よしの病院

9月11日 (金)	09:00-09:30	症例：認知症	木村 充	久里浜医療センター
	09:30-10:15	ブリーフ・インターベンション	杠 岳文	肥前精神医療センター
	10:15-10:30	休 憩		
	10:30-11:15	疫学	尾崎 米厚	鳥取大学医学部 環境予防医学分野
	11:15-12:00	心理社会的治療	澤山 透	相模が丘病院
	12:00-12:30	症例：救急外来	柴山美紀根	市立四日市病院救命 救急センター
	12:30-13:30	昼 食		
	13:30-14:00	症例：社会問題	森田 展彰	筑波大学医学医療系 社会精神保健学
	14:00-14:45	家族への対応	吉田 精次	藍里病院
	14:45-15:00	休 憩		
	15:00-15:15	AAについて		AA
	15:15-15:45	模擬ミーティング		AA
	15:45-16:00	断酒会について		全日本断酒連盟
	16:00-16:30	当事者・家族講話		全日本断酒連盟
	16:30-16:45	休 憩		
	16:45-17:15	地域連携	垣渕 洋一	成増厚生病院
	17:15-18:00	総合ディスカッション		

注) 講義タイトル、講師は予定となります。今後変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



# 令和2年度 依存症治療指導者・依存症相談対応指導者・地域生活支援指導者養成研修(薬物)

令和2年10月23日(金)・10月30日(金) (敬称略)

実施日	時間帯	内容	講師	講師所属・職名
10/23 (金) ※	9:00	受付開始		
	9:30-9:35	オリエンテーション	近藤あゆみ	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 診断治療開発研究室長
	9:35-9:40	開会挨拶	松本 俊彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長
	9:40-10:30	薬物依存症の治療総論	成瀬 暢也	埼玉県立精神医療センター 副院長
	10:40-11:30	薬物依存症と重複障害	松本 俊彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長
	11:40-12:30	薬物使用と感染症(HIV・肝炎)	嶋根 卓也	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 心理社会研究室長
	12:30-13:30	お昼休憩		
	13:30-14:20	自助活動と地域連携	加 藤 隆	特定非営利活動法人八王子ダルク 代表
	14:30-15:20	薬物問題に関連する法律	松本 俊彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長
	15:30-16:20	家族支援	近藤あゆみ	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 診断治療開発研究室長
10/30 (金)	16:30-17:20	様々な心理療法	村瀬 華子	北里大学医療衛生学部心理学研究室 教授
	9:30-10:30	地域連携の実践報告とグループワーク(1)新潟県	細野純子(新潟県精神保健福祉センター) 他	
	10:40-11:40	地域連携の実践報告とグループワーク(2)横浜市	白川教人(横浜市の健康相談センター) 他	
	11:50-12:50	地域連携の実践報告とグループワーク(3)鹿児島県	桑原主税(医療法人寛容会森口病院) 堤聖子(鹿児島県精神保健福祉センター) 藤本早紀(鹿児島保護観察所)	
	12:50-13:50	お昼休憩		
	13:50-14:50	総合討論と質疑応答	松本 俊彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長
	14:50-15:00	閉会式	松本 俊彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長

※地域生活支援者養成研修は10/23(金)のみ。

**令和2年度第1回ギャンブル等依存症研修  
(治療指導者養成研修/相談対応指導者養成研修)**

日時：令和2年9月17日（木）～18日（金）

場所：オンライン

実施日	時間帯	内容	講師	講師所属
9月17日 （木）	13:00-13:30	受 付		
	13:30-13:35	開講式		
	13:35-14:05	ギャンブル障害と行政施策	伊東 寛哲	厚生労働省社会・援護局障害 保健福祉部精神・障害保健課
	14:05-14:35	ギャンブル障害総論 (概念、診断、合併精神疾患)	松下 幸生	久里浜医療センター
	14:35-15:05	ギャンブル障害の治療（入院治療を含む）	松崎 尊信	久里浜医療センター
	15:05-15:15	休 憩		
	15:15-15:55	ギャンブル障害の脳の話	高橋 英彦	東京医科歯科大学
	15:55-16:35	地域における相談支援	田辺 等	北星学園大学社会福祉学部
	16:35-17:15	精神保健福祉センターにおける相談支援	小原 圭司	島根県立心と体の相談センター
	17:15-17:25	休 憩		
	17:25-18:25	C R A F Tを活用した効果的な家族支援	吉田 精次	藍里病院
	18:25-19:25	借金問題への適切な対処法	稲村 厚	NPO法人ワンデーポート 稲村厚司法書士事務所

9月18日 （金）	09:00-09:45	ギャンブル依存の心理傾向と認知行動療法	古野 悟志 岡田 聡	久里浜医療センター
	09:45-10:30	行動という視点で考えるギャンブル障害	蒲生 裕司	よしの病院
	10:30-10:40	休 憩		
	10:40-11:25	家族体験談	佐藤しのぶ	NPCRノンファミリー カウンセリングルーム
	11:25-12:10	当事者体験談	佐伯 徹	公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 ASK認定依存症予防教育アドバイザー
	12:10-13:10	昼 食		
	ギャンブル障害の地域連携			
	13:10-13:50	地域連携における精神保健福祉センター の役割	白川 教人	横浜市こころの健康相談センター
	13:50-14:30	地域連携のモデル紹介	佐久間寛之	さいがた医療センター
	14:30-15:10	借金問題と地域連携	安藤 宣行	あさかカウンセリング事務所
	15:10-15:20	休 憩		
	15:20-16:00	家族会と地域連携	田中 紀子	公益社団法人ギャンブル依存症 問題を考える会
	16:00-16:40	回復施設と地域連携	池田 文隆	グレース・ロード 甲斐サポートセンター
		閉講式		

注）講義タイトル、講師は予定となります。今後変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

**令和2年度第2回ギャンブル等依存症研修  
(治療指導者養成研修/相談対応指導者養成研修)**

日時：令和2年12月3日（木）～4日（金）

場所：オンライン

実施日	時間帯	内容	講師	講師所属
12月3日 (木)	13:00-13:30	受 付		
	13:30-13:35	開講式		
	13:35-14:05	ギャンブル障害と行政施策	伊東 寛哲	厚生労働省社会・援護局障害 保健福祉部精神・障害保健課
	14:05-14:35	ギャンブル障害総論 (概念、診断、合併精神疾患)	樋口 進	久里浜医療センター
	14:35-15:05	ギャンブル障害の治療（入院治療を含む）	西村光太郎	久里浜医療センター
	15:05-15:15	休 憩		
	15:15-15:55	ギャンブル障害の脳の話	高橋 英彦	東京医科歯科大学
	15:55-16:35	地域における相談支援	田辺 等	北星学園大学社会福祉学部
	16:35-17:15	精神保健福祉センターにおける相談支援	小原 圭司	島根県立心と体の相談センター
	17:15-17:25	休 憩		
	17:25-18:25	C R A F Tを活用した効果的な家族支援	吉田 精次	藍里病院
	18:25-19:25	借金問題への適切な対処法	稲村 厚	NPO法人ワンデーポート 稲村厚司法書士事務所

12月4日 (金)	09:00-09:45	ギャンブル依存の心理傾向と認知行動療法	古野 悟志 岡田 隆	久里浜医療センター
	09:45-10:30	行動という視点で考えるギャンブル障害	蒲生 裕司	よしの病院
	10:30-10:40	休 憩		
	10:40-11:25	当事者体験談	佐伯 徹	公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 ASK認定依存症予防教育アドバイザー
	11:25-12:10	家族体験談	佐藤しのぶ	NFCRノンファミリー カウンセリングルーム
	12:10-13:10	昼 食		
	ギャンブル障害の地域連携			
	13:10-13:50	地域連携における精神保健福祉センター の役割	白川 教人	横浜市こころの健康相談センター
	13:50-14:30	地域連携のモデル紹介	佐久間寛之	さいがた医療センター
	14:30-15:10	借金問題と地域連携	安藤 宣行	あさかカウンセリング事務所
	15:10-15:20	休 憩		
	15:20-16:00	家族会と地域連携	田中 紀子	公益社団法人ギャンブル依存症 問題を考える会
	16:00-16:40	回復施設と地域連携	池田 文隆	グレース・ロード 甲斐サポートセンター
		閉講式		

注）講義タイトル、講師は予定となります。今後変更することがありますので、あらかじめご了承ください。